

みうら学・海洋教育ネットワーク通信 NO.1

令和2年6月15日

3月25日（土）に、小網代の国土地理院「油壺験潮所」を見に行きました。

油壺バス停から、マリパークに向かって歩いていくと、左側に看板が立っていて、その急な斜面を海へ降りて行ったところにあります。

ここは、東京湾の水位を自動的に記録している重要な施設です。旧の建屋は、昨年、土木学会推奨土木遺産に認定されました。現在は、新建屋で調査をしています。



途中には、水準点も設置されています。

三浦市民もあまり知らないですが、貴重な施設になっています。台風の避難港になっている波の穏やかな場所なので、この場所が選ばれたのでしょうか。

釣りのポイントになっているようで、釣り人も5人ほど見かけました。

途中の階段がたいへん急なので、帰りののぼりが大変でした。



5月28日（木）、一番川上流で、初声小学校とマリパークが、ニホンアカガエルのオタマジャクシの放流を行いました。これは、今はほとんど見られなくなってしまったアカガエルを復活させようというプロジェクトです。

マリパークでは、以前、初声地区で捕獲したアカガエルを、代々飼っていて、その子孫のオタマジャクシを、元の初声地区に戻したのです。初声小で増やしたものを合わせて1500匹以上を放流しました。



昨年放流した結果、卵塊や成体が見つかっています。今年の放流現場は、昨年より草や泥が多く、期待が持てる状況でした。昨年以上の成果が望めます。例年は、児童が流すのですが、今の状況のため、職員が放流しました。



6月5日（金）、名向小学校の6年生が、真珠の浜揚げに挑戦しました。

現状を鑑み、クラスを3つのグループ（10～11人ずつ）に分け、窓は全開にし、小パール隊の皆さんにはフェイスシールドを付けていただきました。

例年は、誰かが真珠を見つけると、歓声が上がっていたのですが、今年は、見つけても静かに喜んでいました。

なかなか見つからない児童もいましたが、最終的に、6年生全員、真珠を見つけることができました。

小パール隊の皆さん、ご指導ありがとうございました。

片付けの際の消毒などで、名向小学校の職員の皆さんにもたいへんお世話になりました。



本年度もよろしくご協力ください。

みうら学・海洋教育に関するお問い合わせは、三浦市教育委員会 882-1111

(内線 428)